

2017年8月9日

東急不動産ホールディングス株式会社

“住まい”を起点としたライフスタイル提案型街づくり事業 「LIFE STORY TOWN」 始動

～一人ひとりの暮らしに、新しい物語を～

東急不動産ホールディングス株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)は、東京都世田谷区で取り組んでおります「世田谷中町プロジェクト」を第一弾として、一人ひとりの暮らしに新しい物語を提案する“住まい”を起点としたライフスタイル提案型街づくり事業「LIFE STORY TOWN」を展開しますので、お知らせいたします。展開に併せ、WEBサイトを開設し、発信を行ってまいります。

当社は、1923年、理想の街づくりを目指して先駆的に取り組んだ「田園調布」の開発以来、1953年設立の「東急不動産」による開発事業をはじめ、管理・仲介事業にも早くから進出し、1970年代初頭に誕生した「東急コミュニティー」や「東急リバブル」は現在、それぞれの業界でトップクラスのポジションを確立しています。その後も、“手の復権”を目指して小売業に参入した「東急ハンズ」(1976年)、新しい余暇の過ごし方を提案した「東急ハーヴェストクラブ」(1988年)など、時代の変化をくみ取った絶え間のない進化を続け、強い個性と広がりを持つ企業グループへと成長してきました。

当社はこれからも、豊かで健やかな社会の実現に向け、ハコやモノの枠を超えてライフスタイルを提案し、新たなライフストーリーを創造します。

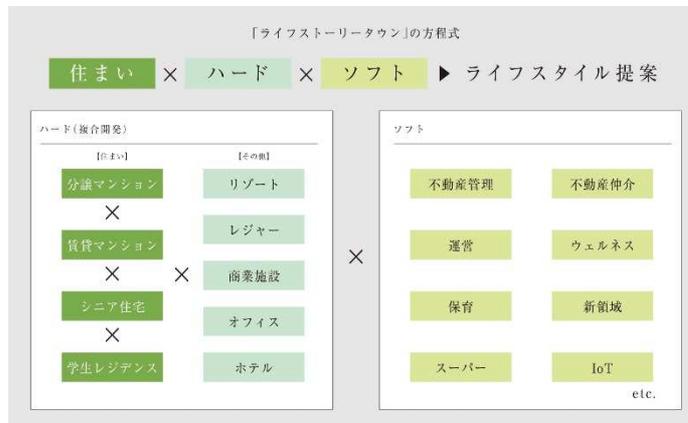


LIFE STORY TOWNのイメージ図

■『LIFE STORY TOWN』とは

一人ひとりの暮らしにまだ体験したことのない幸せな物語を紡ぐような、新しい時代の、新しいライフスタイルを提案する街を「LIFE STORY TOWN」として展開します。

「LIFE STORY TOWN」の方程式は、「住まい」×「ハード」の複合開発×「ソフト」です。新しいライフスタイルを提案するだけでなく、「社会課題の解決を図ること」、「竣工後も支え、守り続け、育てること」の2つを使命と考えています。2つの使命を叶えるため、東急不動産ホールディンググループとなり、「LIFE STORY TOWN」の実現に取り組んでまいります。



LIFE STORY TOWNの考え方

■『LIFE STORY TOWN』第一弾「世田谷中町プロジェクト」

「LIFE STORY TOWN」のコンセプトに基づき、世代循環型の街づくりを目指し、取り組んでいる「世田谷中町プロジェクト」が2017年9月に完成します。分譲マンション「ブランズシティ世田谷中町」とシニア住宅「グランクレール世田谷中町」を1万坪という広大な敷地の一つの街に開発し、さらに両居住者だけではなく、地域にも開かれた多世代交流拠点として、コミュニティプラザを併設しています。



完成予想図



イメージ図

◆世田谷中町プロジェクトで描くライフストーリー

<家族3世代が寄り添うライフストーリー>

昔はどの家族も3世代が同じ屋根の下で暮していました。おじいさんとおばあさんは孫の成長を見守り、お父さんとお母さんは子育てを教わりながら奮闘する。子どもたちはたくさんの愛情を注がれすくすくと育ちました。当プロジェクトでは、そんな昔懐かしい安心感やぬくもりにつまれた街で家族3世代が寄り添う生活を提案します。

■「世田谷中町プロジェクト」9月街開き

多世代で楽しむことのできる ～世田谷中町まつり 開催～

世田谷中町プロジェクトでは、多世代で暮らし、多世代で交流できる街として、様々な取り組みを行っています。ブランドシティ世田谷中町の第1工区、グランクレール世田谷中町シニアレジデンスについては、既にお客さまが入居しており、今後9月上旬にグランクレール世田谷中町ケアレジデンス、9月下旬にはブランドシティ世田谷中町の第2工区の入居が開始する予定です。

全ての施設での入居が開始する9月に街開きイベントとして、「世田谷中町まつり」を下記概要にて開催します。

【「世田谷中町まつり」概要】※荒天時には、中止となります。

・日時:2017年9月18日(予定)

・会場:世田谷中町プロジェクト敷地内

(ブランドシティ世田谷中町、グランクレール世田谷中町 敷地内)

・イベント内容(予定)

- ①東急ハンズによるワークショップ
 - ②東急スポーツオアシスによるプログラム
 - ③キッチンカーにより飲食物の提供
 - ④子ども縁日
- 等



イメージ図

【案内図】



【サイトURL】 http://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/life_story_town/